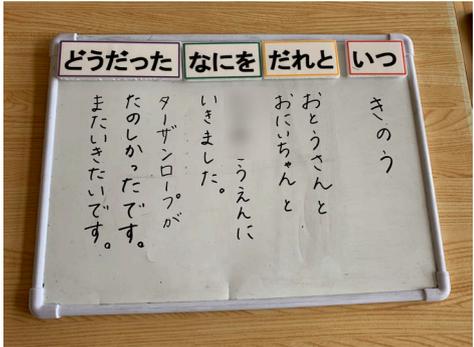
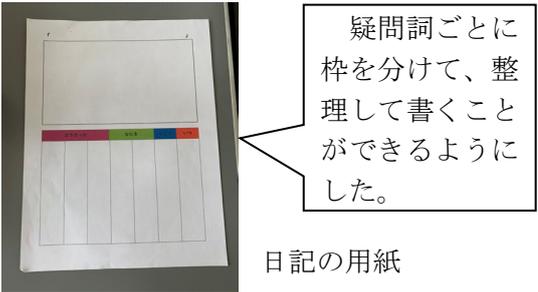


見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことの指導 ～簡単な日記を使った事例～			
学部・教科	小学部・国語科	事例コード	2209
学習グループの実態	<ul style="list-style-type: none"> 小学部5学年 聞くこと・話すことについては、言葉でのやりとりができ、教師の話聞いて大まかな話の内容を理解したり、質問に答えたりすることができる。 読むことについては、平仮名、片仮名、日常生活でよく使う小学校1年生程度の漢字が読める児童や、平仮名の清音が読めるようになり、促音、拗音、濁音、半濁音の読みについて理解を深めている児童が在籍している。 書くことについては、平仮名、片仮名を理解し、3語文程度の簡単な文を書くことができる児童や一人で書ける平仮名が増えてきた児童がいる。 		
単元(題材)名	『につきをかこう』		
学習指導要領の内容	国語科／小学部3段階 [知識及び技能] ウ(イ) [思考力、判断力、表現力等] B書くことーウ		
単元(題材)の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
	出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。【[知] ウ(イ)】	見聞きしたり、経験したことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。【[思] Bウ】	言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。【小学部3段階ウ】
* 本事例集では、学習指導要領の目標及び内容に基づいた表現に編集しています。	単元(題材)の計画 総時数9時間 ○ 書きたい内容を整理して簡単な語句や短い文を書く。 ① 経験したことを思い浮かべながら、「いつ」、「どこで」などの疑問詞に沿って教師とやり取りをしながら書きたいことを整理する。 ② 写真やイラストを貼ったり絵を描いたりする。 ③ 内容整理ボードを見ながら、用紙に語句や文を書く。 ※ 完成した日記を友達の前で発表したり、廊下に掲示したりする。 ※ 朝の個別学習の時間や宿題として、年間を通して継続する。		
	指導の実際 <ul style="list-style-type: none"> テーマを聞いて書きたいことを思い浮かべて、経験したこの事実やそのときの感情について簡単な語句で表したり、教師とやりとりをしながら短い文に書いたりすることができた。 「休みの日に楽しかったこと」などのテーマを聞き、書きたいことを思い浮かべて、『いつ』はきのうだね。、『なにをした』は、○○こうえんにいった。」などと、疑問詞に沿って内容を整理しながら短い文を書くことができた。 自分が体験して楽しかったことを友達や保護者に伝えたいと言って、自分から日記を書き始める姿が見られた。 	<div style="text-align: center;">  <p>内容整理ボード</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>日記の用紙</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 疑問詞ごとに枠を分けて、整理して書くことができました。 </div>	